

事業年度	定員(人)			児童数(延人数)			充足率(%)		延長保育利用人数 (延人数)				一時保育	園庭開放他
									30分延長	1時間延長	1.5時間延長	2時間延長	(延人数)	(延人数)
令和3年度 事業報告	65 人	1号	15 人	615 人	1号	27 人	1号	15 %	247 人	3 人	人	人	245 人	14 人
		2,3号	50 人		2,3号	588 人	2,3号	98 %						
令和4年度 事業計画	65 人	1号	15 人	624 人	1号	48 人	1号	27 %	240 人	1 人	人	人	245 人	20 人
		2,3号	50 人		2,3号	576 人	2,3号	96 %						
令和4年度 事業報告	65 人	1号	15 人	603 人	1号	63 人	1号	35 %	210 人	2 人	人	人	225 人	27 人
		2,3号	50 人		2,3号	540 人	2,3号	90 %						

法人基本 運営方針	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	同朋福祉会創立者江川義清の「人は大切 子は宝」の理念をもとに、乳幼児を保育する中、人間尊重と子ども第一主義で子どもの最善の利益を追求し、積極的に福祉の増進を図る。	子ども達の遊び(興味・関心・好奇心)から生まれる経験や環境への主体的な関わりを通して豊かで健全な心と体の育成を目指した教育・保育を行い、小学校以降の生きる力の基礎を培う→指導計画へ ・虐待防止・個人情報保護・苦情解決システム	・子どもの人権マニュアル見直し(年2回) ・虐待チェックリスト(年3回) ・苦情解決・守秘義務遵守マニュアル見直し(年1回)	一年を通して、全てのマニュアルの見直しを行い、共通理解を得ることができた。また、外部講師を招いて人権擁護について研修を行い、子どもへの関わり方、声のかけ方等見直すことができた。	新年度は2名の新任職員がいるので、子どもの人権については、マニュアルの見直しを丁寧に行ったり、外部講師を招いて研修を行ったりして、全職員が共通理解のもと、保育に取り組む。
サービスの向上	・サービスの明確化 ・保育内容・質の向上 ・健康及び安全	・保護者アンケート(年3回) ・保護者と共有保育目標作成、評価(年2回) ・登園時の健康状態把握(随時) 日中検温(1日3回) ・園児一人一人の状態確認(随時) ・玩具の見直し、消毒(随時) ・温度・湿度点検(1日3回) ・安全点検(月1回) ・乳児SIDSチェック(日々) ・月案会議(月1回) ケース会議(年4回)	・個別懇談会(6月) ・保護者アンケート(保育・給食計3回) ・園児の検温を行う(1日2～3回) ・園内外のアルコール消毒(随時) ・温度湿度点検(一日3回) ・午睡チェック(日々) ・月案会議(月1回) ・ケース会議(年4回)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に引き続き園内や玩具の消毒や換気、子どもの体調把握等を日々行ったことで、8月の第7波、12月の第8波を乗り切ることができた。また、保護者アンケートでも安心して園に預けていただけている声を多々聞くことができた。	新型コロナウイルス対策については軽減されると思われるが、子どもの体調管理については、検温等小まめに行うことで、早期に対応出来ていたもので、継続して行う。 また、月案会議やケース会議を通して、保育内容の見直しを職員間で共通理解することで、保育の質の向上に努める。
地域との共生	・子育て支援 ・地域との連携 ・世代間交流 ・教育機関との連携	・子育て相談(随時) ・園庭開放や乳幼児子育て応援事業(年96回) ・地域への保育室や運動場開放(地域総会やグランドゴルフ) ・地域福祉センター交流会(年2回) ・小学校連絡会(年2回) ・5歳児交流会(年4回) ・地域清掃(年2回) ・総合避難訓練(年1回) ・トライやる・ワークキャンプ受入れ	・子育て電話相談(随時) ・園庭開放・乳幼児子育て応援事業(年96回) ・地域への運動場開放(第1第3土曜) ・小学校との連絡会(8月2月) ・地域清掃(年2回) ・5歳児交流会(3回) ・総合避難訓練(年1回) ・トライやる受入れ ・すこやかクラブとの交流会(年3回)	新型コロナウイルスの影響もあり、地域に住む親子の来園は昨年度に引き続き少なかったが、地域住民への運動場開放(グランドゴルフ)や小学校との意見交換会、5歳児交流会等は少しずつ通常に戻ってきて実施することができた。また、区社協から、キッチンカーを地域住民に楽しんでもらいたいということで、場所の提供依頼があり、地域の方がたくさん利用し、喜んでいただけた。	地域の情報アプリへの子育て事業への掲載やSNSを通して、より多くの方に園を知っていただき、入所へとつなげる。 また、地域の方々との交流を増やし、地域と共存できる園を目指す。
人材育成	・職員の質の向上	・スキルアップのためのキャリアアップ研修受講 ・次世代育成のための実習生受入れ ・研修計画に基づいた外部研修、園内研修	・キャリアアップ研修受講(対象者) ・実習生受入れ(2月) ・権利擁護研修(全職員) ・市民救命士講習(職員8人)	キャリアアップ研修はほぼ対面研修となり、参加職員の質の向上につながった。また、法人内施設で虐待事案が発生したこともあり、権利擁護研修を受けたことで、職員で共通理解を得ると共に、保育の見直しへとつながった。	・キャリアアップ研修には積極的に参加し、質の向上につなげる ・非正規職員も、興味ある研修に参加してもらい、正規職員への転換を図る。